

第13講 ブレジネフ時代のソ連

ソ連（ロシア）の政治における男性原理：力の政治

「ヒゲとハゲ」

アレクサンドル 3 世	ハゲ
ニコライ 2 世	ヒゲ
レーニン	ハゲ
スターリン	ヒゲ
フルシチョフ	ハゲ
ブレジネフ	眉毛
アンドロポフ	ハゲ
チェルネンコ	髪の毛
ゴルバチョフ	ハゲ
エリツィン	髪の毛
プーチン	ハゲ

ブレジネフ時代（1963-82）

◎ソ連史上初めての長期にわたる安定した時代

スターリン時代のような血の粛清もなく

フルシチョフ時代のような性急な粛清もない

革命以来初めての低成長の時代

GNP の年間成長率：3.4%

構造変革や組織変革も行われなかった

現状維持に傾く党官僚（ノーマンクラツラ：約 100 万人）や地方幹部、軍官僚や経済官僚、シェレーピンやスースロフらの党長老のバランスと支持の上に成立

↓

スターリンやフルシチョフのような指導者型でなく、日本型の待ちの、調整型の政治家であった

◎ソ連社会の変化

都市型市民の増加

1962 年ころ 全人口の 50%

1982年 全人口の3分の2

教育水準の向上

1932年 高等教育 2% 中等教育 20%

1984年 高等教育 11.1% 中等教育 64.8%

高等専門職の増加

1940年 法律と経済の専門家 5700人

1982年 法律と経済の専門家 100万人以上

パンから肉へ

◎対外関係の好転

2度にわたる戦略兵器制限条約 (SALT) の締結

1972年と79年

相互確証破壊戦略の確立

アメリカとの相互依存の拡大

科学技術・穀物・機械の輸入

レア・メタルの輸出

アメリカを中心とする西側勢力の後退

1973年 ベトナム戦争でのアメリカの敗退

1974年 エチオピア革命

1975年 モザンビーク、アンゴラ等での革命

1979年 イラン革命

アメリカとの軍事パリティの達成

核戦力の均衡

	ソ連	アメリカ
ICBM	1418	1000
SLBM	928	3344

欧州における地上軍の優位

陸軍 200万人 (アメリカ 77万人)

ゴルシコ提督によるバランスのとれた海軍建設

主要水上艦艇 274隻 (アメリカ 237隻 日本 54隻)

空母 6隻 (アメリカ 15隻) →外洋作戦可能

航空機の近代化に成功（初飛行）

Mig 23(1967年)、Mig 25(1964年)、Su 27(1977年)

◎欠陥が長期政権の中で露呈

人事の停滞→長老支配→変革よりも安定を好む

1981年3月の党大会における政治局員

14名 平均年齢 69歳

ブレジネフ	75歳	アンドロポフ	67歳
チェルネンコ	70歳	ゴルバチョフ	50歳
スースロフ	79歳	キリレンコ	75歳
ロマノフ	58歳	ペリシェ	82歳
ウスチノフ	73歳	チーホノフ	76歳
グロムイコ	72歳	グリシン	67歳
クナーエフ	69歳	シチュエルビツキー	63歳

50歳台はゴルバチョフとロマノフのみ

技術革新の遅れ

1970年代 西欧ではハイテクに移る

(IC、コンピュータ、ロボット)

	米	日	西欧	ソ連
コンピュータ	9.9	7.3	3.3	1.5
バイオ技術	8.9	5.7	4.9	1.3
新素材	7.7	6.3	6.0	3.8

(フォーチュン誌、1986年10月13日による)

旧来の技術に頼る

1985年の工作機械（単位：百万ドル）

生産：30.15 輸出：1.94 輸入：1.29

(日本)

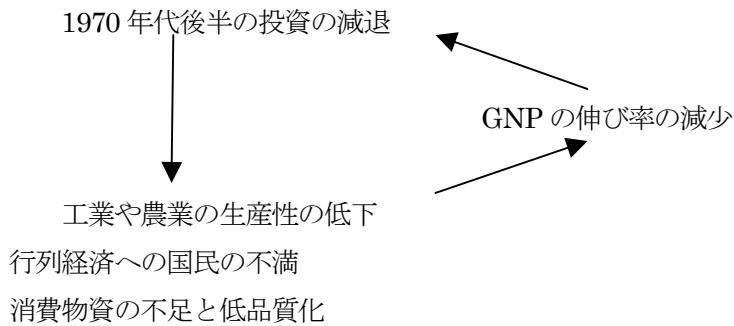
生産：52.70 輸出：20.99 輸入：22.3

アメリカ

生産：25.75 輸出：4.45 輸入：17.25)

鉄、鋳鉄の生産は世界一

経済成長の悪循環



◎帝国の負担

積極的な第三世界への進出のコストと効果

キューバ、ベトナム、アンゴラ等

毎年 100 億ドルの経済・軍事援助

効果なし

ベトナムは失速、アンゴラやモザンビークは西側に接近

石油価格の低迷からくるハードカレンシーの余裕がかなり窮屈



経済建設への技術・資本の不足

◎アメリカの反発と軍備競争

1977年のSS-20 (5000km : 多核弾頭) の配備

→ 1983年のパーシングII型 (1800km : 単弾頭) 配備

核戦力の拡充 → SDI 構想

1980年 対ソ穀物禁輸、コム規制の強化

1987年 東芝事件

1979年12月 アフガニスタン侵攻

1980年1月 モスクワ五輪ボイコット

◎経済成長の停滞

工業生産 (ソ連のGNPの牽引力) の成長率

1961-65年 6.5%

1976-80年 2.7%

1981年 1.1%

1982年 0.9%

GNPと成長率

	ソ連	アメリカ	日本
1980年	14,286億ドル 2.4%	27,320億ドル 2.4%	10,589億ドル 3.7%
1986年	22,059億ドル 2.5%	42,085億ドル 2.5%	19,628億ドル 4.0%
1993年	26,200億ドル 2.5%	50,000億ドル 3.0%	28,200億ドル 4.0%
2000年	31,200億ドル	61,500億ドル	37,100億ドル

GNP配分（2%）：消費の抑制

消費に半分（アメリカの40%）

投資に3分の1（アメリカの80%）

軍事ほかに6分の1

慢性的な農業不振

◎出生率低下と高齢化